

総論及び各タスクフォースからの提言は下記の通り。それぞれが、国力を手厚く投資すべき3種のアプローチに当てはまる内容となっている

タスクフォース提言一覧※中間提言時点

総論

- ① ヘルスケアSU関係者からの保険報酬改定等の要望を受け付け、検討を行う新たな一元窓口を設置する【**アプローチ2：開発環境**】
- ② MEDISOの機能・体制を充実・強化し、より継続的で能動的なSU支援へ拡充・移行する【**アプローチ1：ヒト、アプローチ2：開発環境・市場**】
- ③ マイルストーン型開発支援の活用により、これまで着手が難しかったテーマの創薬や医療機器開発を加速する【**アプローチ2：開発環境**】
- ④ ヘルスケアSUに関する政府支援や申請手続き等の相談対応につき、原則英語対応を可能にする【**アプローチ1：ヒト、アプローチ2：開発環境**】
- ⑤ ヘルスケア分野でトップクラスのグローバルVCを日本に誘致する【**アプローチ1：ヒト・カネ**】
- ⑥ 分散型臨床試験（DCT）等の治験DXを積極活用し、上市までの時間・コストの大幅圧縮を実現する【**アプローチ2：開発環境**】

バイオ・再生 タスクフォース

- ① AMEDによる創薬ベンチャーエコシステム強化事業（認定VCによるSUの伴走支援プログラム）の投資出資額要件を緩和し、非臨床ステージのパイプラインを支援し易い運用にする【**アプローチ1：ヒト・カネ**】
- ② 製造・非臨床・臨床・ライセンスの各領域で、グローバル視点で新規モダリティに対応できる人材を育成する官民協力型の教育プログラムを構築する【**アプローチ1：ヒト**】
- ③ バイオ・再生SUのIPOの障害となりうる日本取引所グループの上場要件の明確化を図る【**アプローチ2：市場**】

医療DX・AI タスクフォース

- ① マイナポータル等の医療データの民間事業者との持続的なAPI連携を実現するとともに、連携項目を拡充する【**アプローチ2：開発環境**】
- ② 医療分野のAI開発促進に向けて、ルールの明確化について今年度中に一定の整理を示すとともに、事業の予見性向上に関する考え方の整理を進める【**アプローチ2：開発環境**】
- ③ 病院や健保におけるSUの製品・サービスの積極導入に関する各種制約（ベンダーロックイン、セキュリティ）の解消に向けた相談窓口や客観的な評価システムを構築する【**アプローチ2：開発環境・市場**】

医療機器・SaMD タスクフォース

- ① ハイリスク・ハイリターンな革新的治療機器開発について、臨床エビデンス獲得に対する資金支援、及び協力する臨床研究中核病院等に対する支援を拡充する【**アプローチ1：アイデア、アプローチ2：開発環境**】
- ② ヘルスケアSUによる海外展開支援に関し、専門人材の育成や薬事規制の国際協調の強化を行う【**アプローチ1：ヒト、アプローチ2：市場**】
- ③ SaMDの開発・事業化の制約となりうる業許可規制及び広告規制等を早急に緩和する【**アプローチ2：開発環境**】

介護テック タスクフォース

- ① 介護テックSUを支援する一元的相談窓口として「CARISO（仮称：CARE Innovation Support Office）」（介護版MEDISO）を早期に立ち上げる【**アプローチ2：開発環境、アプローチ3：ヒト**】
- ② 介護事業所向けのDX支援の拡充により介護テックの導入を促し、深刻化する介護就労者不足の解消を目指す【**アプローチ3：カネ**】
- ③ 在宅事業者・利用者向け介護テック製品の介護保険上の評価を見直し、導入インセンティブを明確化する【**アプローチ2：市場**】